

## 1・バイオ燃料のメリットとデメリット

バイオ燃料のメリットは大まかにいえば農業によってエネルギーを生産することができる。たとえば果実や種子に含まれている糖類から炭化水素（石油と同じ成分）がとりだせる。ようするにその作り出された燃料を燃やし、二酸化炭素をだし、その二酸化炭素を光合成により植物がとりこんで実を作り、またその実を燃やすといった感じで結局同じ量の炭素が循環しているだけである。しかもこのエネルギー源となるのが太陽をつかった光合成なので石油のように限りがあるわけではなくリサイクルできるところにメリットがある。

逆にデメリットは石油ほどのエネルギーが確保できないことと、食糧をエネルギーにするためその分値段の高騰してしまうなどといった食糧問題につながってきってしまうことである。

## 2 バイオ燃料の賛否

他国からエネルギーのもとを大量に購入することや食品生産など多くの問題点があることからバイオ燃料を反対する人が大半だったが、質疑し行い問題点を明らかにした上で燃料の品質を守るものであることから賛成する人も増えてきている。



参考資料 [http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/gazou/j070419\\_04.jpg](http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/gazou/j070419_04.jpg)

## 3・これからの課題

具体的にこれからどのようなことをしていけばよいのか。まずは、その飼料を得るため途上国から無理な森林伐採や土壌侵食をしないことから始めるべきである。これは自然

破壊や貧困者の増加にもつながり、あってはならないことである。

人の身勝手な研究や開発で豊かになる反面、逆に苦しんでいる人や苦しむ動物達がいることを忘れず今あるものを最大限にいかす必要がある。